



[智満寺 門前茶屋から石階段、本堂を目指す](#)

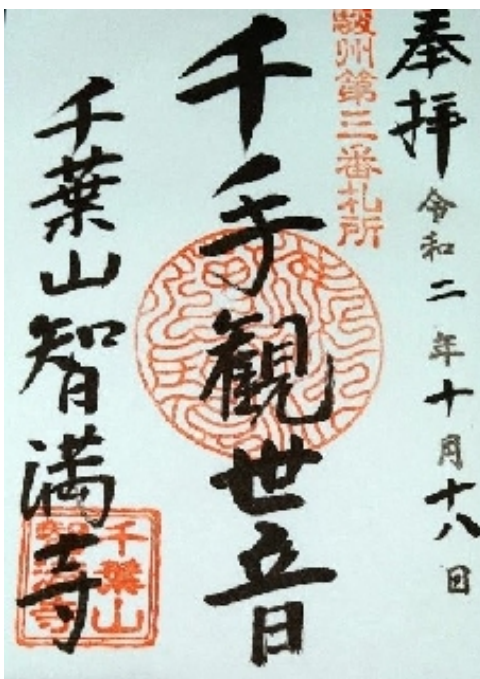
第5回プエルトウォーク(令和2年10月18日)は、静岡巨木100選、25位千葉山智満寺の大杉を目指す。(企画:沼津「DSプエルト」蜂谷幸雄)

千葉山智満寺は、島田駅から北へ約7kmの千葉山にある比叡山延暦寺を総本山とする天台宗のお寺です。
智満寺本堂目指す参加者7名です。

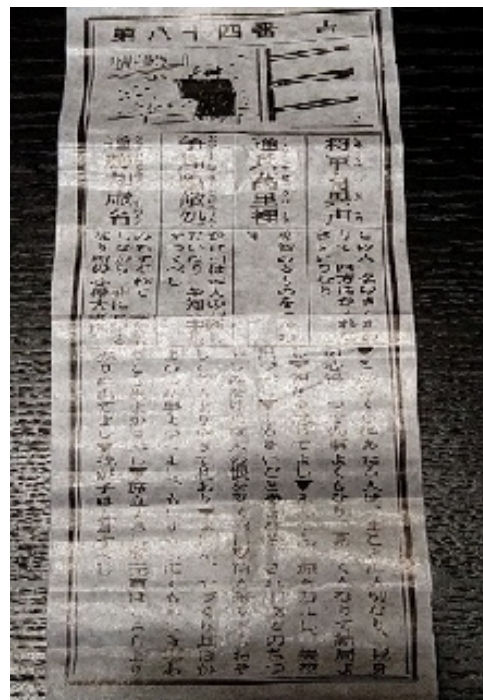


[智満寺 本堂](#)

千葉山 智満寺は境内全体がご本尊 千手観音の聖なるパワーで満ち溢れています。茅葺屋根の本堂は瓦の力で私達を圧する事なく、茅が自然と調和し優しさをかもし出しています。



[御朱印](#)



[おみくじ](#)

御朱印は、日付も入り、いつも、旅行の記念とするとともに、寺の修繕のための、寄付と、天国に導いてもらうための、通行料と、御加護を兼ねています。欲張りかな 😊

おみくじは、元三大師が、考案したとされています。
本尊 千手観世音菩薩(国・重要文化財)は、60年に一度観られる秘仏で、次は、2054年なので、残念 😞
(齋藤広行言)



十本杉「大杉」の前で

千葉山には樹齢800年～1000年の杉の巨木が残され、それぞれの木に名前が付けられています。一地域の人工林に10本もの巨木が守られているところは稀です。3本が自然倒木し、今は7本健在です。

山裾のような根元部分が特徴的「大杉」前で記念写真です。



雷杉を描く 岩崎君男 作

この絵は樹相が雷神の怒りに似ている「雷杉」です。目通りが8.5m、高さ36mの巨木です。推定樹齢800年以上の国指定の天然記念物とのことで、見ごたえがありました。
(岩崎君男作)



奥の院を目指す 岩崎君男 作



昨日の雨も上がり、今日はいくもり、沼津から島田の智満寺に巨木を見に来た。
門前茶屋から急な階段を上り智満寺本堂でお参り、奥の院へ向かう途中の上り坂です。
(岩崎君男作)

奥の院到着。昼食後、奥の院廻り残りの「十本杉」をめぐり、下山する。

平成30年9月30日の台風24号の暴風は、千葉山の開山以来で最大の倒木被害で、令和元年奥の院のお堂の再建工事は、距離700m、標高差150mの奥の院へ人力で資材を運搬するという至難の作業だったとのこと。

「一隅を照らす」とは「自分の役割(一隅)を果たし輝く、世の中のそれぞれが役割を果たすことによって世界・社会が輝く」ということです。天台宗のお寺に遇し思い出す教えです。

取材：沼津・南駿地区担当 生きがい特派員 福田和男